

理事長あいさつ

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一

あけましておめでとうございます。
旧年中は皆様方の格別なご厚情を賜りまして誠にありがとうございました。

令和4年は緊急安全確保が多く発令された年でした。8月の豪雨で広い範囲に被害が発生したのは記憶に新しいところです。大きな被害があった新潟県では、日本防災士会新潟県支部が関川村のボランティアセンターで活動をされたことで感謝状を授与されました。その際には奈良県からの支援金が役立ったと御礼の言葉を頂きました。



昨年は、今まで延期になっていた防災訓練や講演が開催されて、その対応に追われた一年でした。特に秋以降に集中した結果、新たなご依頼をお断りせざるを得ない状況になってしまい、心苦しい気持ちでいっぱいです。ご迷惑をおかけした方には、この場をお借りしてお詫び申し上げます。またお手伝いを頂いた方、ありがとうございました。

秋の訓練には延べ70名の会員に応援を頂きました。奈良県防災士会はNPO法人になっていますが、事務所も専従職員もなく手弁当で活動していますので、会員の皆様の応援は心強い限りです。しかしながら他にも沢山の訓練があり、また事務局の仕事内容も多岐にわたることから、お手伝いを頂きたいことも多様化しています。

奈良県防災士会では「出来ることを、出来る時に、そして楽しく」をモットーに活動していますので、できるだけ一人ひとりの負担を減らしたいと考えています。郵送物の封筒詰めや研修会の準備など、小さなことで構いません。「お手伝いしましょうか?」とお声がけを頂けたら嬉しいです。防災士会には多才な方や、驚くような経歴をお持ちの方が沢山いらっしゃいますので、多くの方と親睦を図る良い機会になります。もちろんお手伝いに限らず、研修会やイベントにも、気軽な気持ちでご参加くださいますようお願い致します。

活動報告

■2022年(令和4年)8月～12月末の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

| 月/日(曜) | イベント、派遣内容 | 市町村名 | 主催者又は要請団体 | 参加人数 |
|---------|---|------|------------------|------|
| 8/1(月) | 夏休みお天気フェア YouTube オンライン動画提供 | — | 奈良地方気象台 | 322人 |
| 8/5(金) | 奈良県旅行業協会 添乗員緊急時対応研修会 | 奈良県 | 全国旅行業協会 奈良県支部 | 20人 |
| 9/8(木) | 日本防災士会 女性防災推進委員会 第5回委員会 オンライン(Zoom会議) | — | 日本防災士会 | 18人 |
| 9/13(火) | 磐城小学校 5年生防災教室 「葛城市の地層・断層について知ろう」5年1組教室 | 葛城市 | 葛城市立磐城小学校 | 37人 |

| 月/日(曜) | イベント、派遣内容 | 市町村名 | 主催者又は要請団体 | 参加人数 |
|----------|--|------|--------------------------|-------|
| 9/14(水) | 磐城小学校 5 年生防災教室 「葛城市の地層・断層について知ろう」5 年 3 組教室 | 葛城市 | 葛城市立磐城小学校 | 38 人 |
| 9/16(金) | 県防災総合訓練全体会議 | 奈良県 | 県防災統括室 | — |
| 9/20(火) | 奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第 1 回) オンライン(Zoom 会議) | — | 奈良県社会福祉協議会 | — |
| 9/21(水) | 磐城小学校 5 年生防災教室 「葛城市の地層・断層について知ろう」5 年 2 組教室 | 葛城市 | 葛城市立磐城小学校 | 37 人 |
| 9/25(日) | 奈良市大宮地区防災研修会 「防災と家族会議」親子参加型研修 | 奈良市 | 大宮地区防災防犯協議会 | 34 人 |
| 10/ 2(日) | 奈良県自主防犯防災リーダー研修 「防災士に期待される活動」 | 奈良県 | 奈良県安全安心 まちづくり推進課 | 106 人 |
| 10/ 2(日) | 奈良県自主防犯防災リーダー研修 「マイ・タイムライン」 | 奈良県 | 奈良県安全安心 まちづくり推進課 | 106 人 |
| 10/ 2(日) | 奈良県自主防犯防災リーダー研修 「その他(受援力)」 | 奈良県 | 奈良県安全安心 まちづくり推進課 | 106 人 |
| 10/ 5(水) | 三郷北小学校 4 年生防災研修 | 三郷町 | 三郷町教育委員会 | 131 人 |
| 10/ 9(日) | 日本防災士会関西支部連絡協議会総会 | — | 日本防災士会関西支部 | 6 人 |
| 10/10(月) | 日本防災士会理事会 | — | 日本防災士会 | 29 人 |
| 10/11(火) | 日本防災士会 女性防災推進委員会 第 6 回委員会 オンライン(Zoom 会議) | — | 日本防災士会 | 19 人 |
| 10/12(水) | 新生涯学習講座「災害に備える」 | 田原本町 | 田原本町教育委員会 事務局生涯教育課 | 25 人 |
| 10/15(土) | 真美ヶ丘第一小学校区一斉安否確認訓練 | 広陵町 | 広陵町安全安心課 | 300 人 |
| 10/16(日) | 北葛城郡 4 町社会福祉協議会 「災害ボランティアセンター立上げ訓練」 | 北葛城郡 | 北葛城郡 4 町社会福祉 協議会事務局長会 | 100 人 |
| 10/17(月) | 香芝市民生児童委員連合会合同研修 「災害時の民生児童委員活動について」 | 香芝市 | 香芝市民生児童委員 連合会 | 100 人 |
| 10/22(土) | ぼうさいこくたい 2022 in 兵庫 | — | 日本防災士会 | — |
| 10/23(日) | 奈良県総合防災訓練 「避難所開設・運営訓練」 | 奈良県 | 奈良県、橿原市 | 27 人 |
| 10/23(日) | 地域防災力向上支援ワークショップ (奈良県総合防災訓練と同一) | 奈良県 | 橿原市 | 27 人 |
| 10/26(水) | 忍海小学校 6 年生防災教室 「葛城市の地層・断層について知ろう」6 年 2 組教室 | 葛城市 | 葛城市立忍海小学校 | 21 人 |



10/26 段ボールベッド体験、防災紙芝居(葛城市忍海小学校)

| 月/日(曜) | イベント、派遣内容 | 市町村名 | 主催者又は要請団体 | 参加人数 |
|----------|--|-------|---------------------------|---------|
| 10/27(木) | 防災講演会 「地域で取り組もう地区防災計画」 | 十津川村 | 十津川村 | 37人 |
| 10/27(木) | 自主防災組織担当職員研修会 「災害から住民の命を守るには」 オンライン(Zoom) | — | 総務省消防庁 | 71人 |
| 10/28(金) | 忍海小学校6年生防災教室 「葛城市の地層・断層について知ろう」6年1組教室 | 葛城市 | 葛城市立忍海小学校 | 21人 |
| 10/29(土) | 真美ヶ丘第二小学校区内 安否確認訓練、地震対策講演 | 広陵町 | 広陵町安全安心課 | 60人 |
| 10/30(日) | 奈良市総合防災訓練 | 奈良市 | 奈良市 | 10,150人 |
| 11/4(金) | 明日香村雷大字 防災講習会 | 明日香村 | 雷大字自治会 | 24人 |
| 11/6(日) | 上但馬自治会防災訓練 | 三宅町 | 上但馬自治会 | 40人 |
| 11/10(木) | 日本防災士会 女性防災推進委員会 第7回委員会 オンライン(Zoom 会議) | — | 日本防災士会 | 21人 |
| 11/12(土) | 日本防災士会支部長会議 | — | 日本防災士会 | — |
| 11/13(日) | 斑鳩町校区别防災訓練 | 斑鳩町 | 斑鳩町 | 84人 |
| 11/15(火) | 楽学「災害に備える」 | 橿原市 | 暮らしの安全安心 サポーター ざ・ひめみこ | 28人 |
| 11/15(火) | 奈良県防災プラットフォーム連絡会 定期会議(第2回) オンライン(Zoom 会議) | — | 奈良県社会福祉協議会 | — |
| 11/17(木) | 体験型「避難所開設・運営訓練」 ～運営する立場の視点から避難所開設～ | 奈良県 | 奈良県災害派遣福祉 チーム(奈良 DWAT) | 22人 |
| 11/19(土) | 大和高田市社協「災害 VC 立上げ訓練」 | 大和高田市 | 大和高田市社会福祉 協議会 | 13人 |
| 11/19(土) | 関西支部連絡協議会講演会 | — | 日本防災士会関西支部 連絡協議会 | — |
| 11/19(土) | スキルアップ研修 オンライン(Zoom) 「コロナ禍の新しい防災教室の取り組み」 | — | 日本防災士会 女性防災推進委員会 | 74人 |
| 11/20(日) | 地域防災力向上支援ワークショップ 「西長柄町防災フェア」 | 天理市 | 西長柄町自治会・ 自主防災会 | 180人 |
| 11/20(日) | コロナ感染症に配慮した1次救命 ワークショップ | 上牧町 | かんまき自主防災ネット ワーク | 15人 |
| 11/26(土) | 地域防災力充実強化大会 「災害多発時代の消防団と自主防災組織の在り方」 | 奈良県 | 消防庁、奈良県、奈良市、 奈良県消防協会 | 1,000人 |
| 11/27(日) | 災害時通訳・翻訳ボランティア養成研修 | 奈良県 | 奈良県外国人支援センター | 77人 |



11/13 物資搬送訓練(斑鳩町)



11/19 災害ボランティアセンター立上げ訓練(大和高田市)

| 月/日(曜) | イベント、派遣内容 | 市町村名 | 主催者又は要請団体 | 参加人数 |
|----------|---|-------|--------------------|------|
| 12/8(木) | 日本防災士会 女性防災推進委員会 第8回委員会 オンライン(Zoom 会議) | — | 日本防災士会 | 21 人 |
| 12/10(土) | 町民ワークショップ「ゲームで学ぶ防災編」 | 王寺町 | 王寺町防災統括室 | 49 人 |
| 12/10(土) | 日本防災士会支部長会議 | — | 日本防災士会 | — |
| 12/11(日) | 地域防災力向上支援ワークショップ 「今里町防災まちあるきと防災講演会」 | 大和高田市 | 今里町自治会 | 28 人 |
| 12/12(月) | 法隆寺防災訓練 | 斑鳩町 | 法隆寺・斑鳩町 | 70 人 |
| 12/17(土) | 防災学習会 | 奈良県 | 奈良県地域婦人団体 連絡協議会 | 50 人 |
| 12/18(日) | スキルアップ研修会 | — | 奈良県防災士会 | 49 人 |
| 12/26(月) | 大和川流域水害対策協議会検討 WG | — | 大和川河川事務所 | Zoom |

■連続講座 平群町教育委員会中央公民館主催

| 月/日(曜) | 連続講座内容 | 場所 | 参加人数 |
|----------|---------------------------------|----------|------|
| 9/10(土) | 暮らしに活かす防災講座第三回「避難所開設」 | 総合文化センター | 16 人 |
| 10/ 1(土) | 暮らしに活かす防災講座第四回「災害ボランティアについて」 | 総合文化センター | 8 人 |
| 11/19(土) | 暮らしに活かす防災講座第五回「平群町の豪雨災害リスクを知ろう」 | 総合文化センター | 10 人 |

■連続講座 三郷町社会福祉協議会主催

| 月/日(曜) | 連続講座内容 | 場所 | 参加人数 |
|---------|------------------------------|-------------|------|
| 8/20(土) | 三郷町防災講座 第2回「三郷町の災害リスクを知る」 | 三郷町福祉保健センター | 14 人 |
| 9/ 3(土) | 三郷町防災講座 第3回「災害ボランティアとは？」 | 三郷町福祉保健センター | 18 人 |
| 9/17(土) | 三郷町防災講座 第4回「体験(災害 VC 立上げ訓練)」 | 三郷町福祉保健センター | 30 人 |

■ラジオ・新聞・雑誌関連

| 月/日(曜) | 番組名、取材テーマ | 主催者又は要請団体 | 出演・執筆 |
|----------|-------------------------------------|-------------------------------|-------|
| 8/20(土) | NHK 関西発ラジオ深夜便 電話出演 「コロナ禍の防災訓練」 | NHK 大阪放送局 | 末田理事長 |
| 9/26(月) | 奈良市都祁「すずらん苑」広報誌取材 | 社会福祉法人大和会 高齢者総合福祉施設「すずらん苑」 | 末田理事長 |
| 10/20(木) | 月刊誌「河川」令和4年10月号に執筆 流域治水～大和川・江の川～ | 公益社団法人 日本河川協会 | 末田理事長 |
| 10/23(日) | ならどっとFM取材 「奈良県総合防災訓練について」 | ならどっとFM | 末田理事長 |
| 12/8(木) | FM ラジオ「防ぐ・備える77.5」 | FM ヤマト(中和地区) | 村山監事 |

■奈良県自主防犯・防災リーダー研修

令和4年度の奈良県自主防犯・防災リーダー研修が、10月2日（日）奈良県社会福祉総合センターにおいて106名の受講者で開催されました。奈良県安全・安心まちづくり推進課が主催する、新たな防災士を養成する講座で、全3日間受講いただく中の初日になります。一限目は末田防災士が「防災士に期待される活動」として講義を行い、二限目は「防災士が行う各種訓練」として、マイ・タイムラインの実技訓練を八幡領防災士が進行しました。



講義では、防災は一生続く物なので無理は禁物、出来ることを出来る時にということと、行政などに頼らない自己完結の考え方を主に伝えました。防災士は「自助・共助・公助」を繋ぐ役割を担っているため、まずは地域や行政に信頼される人になっていただきたいと思います。マイ・タイムラインは国土交通省の「逃げキッド」を利用して行いました。以前は台風や地震を想定して、自分ならどう行動するかという「タイムライン訓練」が主流でしたが、鬼怒川決壊から、ひとりひとりのタイムラインが必要であるということで「逃げキッド」が考案されました。資料は国土交通省のページからダウンロード出来ますので皆さんも活用して下さい。大きな川が無い地区でも内水氾濫や豪雨、強風による災害の心配はありますし、自宅が安全な場合は自宅内避難での準備も必要です。自分の家にあった自分自身のマイ・タイムラインを作成して下さい。

最後に「その他」として、「受援力」の講義を植村防災士が行いました。地域が被災したときに支援を受け入れる体制が必要です。新型コロナウイルス感染防止のため昨年度に続き参加者を制限したため、抽選に外れた方も多くありましたが、女性や若い方が多かったのが頼もしく感じました。地域や職場、家族のために知識を役立てていただきたいと思います。〈報告：末田政一 防災士〉

■令和4年度関西支部連総会が開催されました

さる10月9日（日）、17時から「日本防災士会関西支部連絡協議会」総会がテレワークで開催されました。総会には、兵庫県支部室崎支部長、大阪府支部田淵支部長、和歌山県支部からは早稲田支部長、奈良県支部からは植村副理事長が参加しました。また、京都府支部はこの日に府内で防災士養成講座が開催されていることから事務局の方が参加しました。総会では、1、令和3年度の事業報告、収支決算 2、令和4年度事業計画、収支予算案についての協議が行われ、令和4年度の担当支部である滋賀県久保支部長からは、「コロナ禍であることから支部連としての活動が皆無になってしまった事のお詫びと、今後の支部連活動のあり方」などが提案されました、当日予定していた議案は、全て全員一致で承認されました。なお、課題として、和歌山県の早稲田支部長から「関西支部連として各府県で災害が発生した際に、お互いに支援できる体制を作るべき」との意見を受けて、関西支部連として支援のあり方を協議することになりました。〈報告：植村信吉防災士〉

■奈良県総合防災訓練

令和4年10月23日(日)9時30分より、橿原市運動公園を会場として、58回目の奈良県総合防災訓練が、3年ぶりに開催されました。奈良県防災士会からも、研修参加希望者13名を含み27名が参加し、避難所開設・運営訓練及びアセスメント担当の団体の受け入れを行いました。避難所会場の変更等、バタバタしていましたが、バルーンシェルター(避難所としては狭小サイズ)を使用することとなりました。が、当日設置が遅れ、避難者受け入れ時刻になっても、準備が間に合わない状況になり、避難者と運営者が一緒に、間仕切りを設置し、入居してもらうことになりました。実際の災害時の状況を作り出してしまい、参加者には良い体験になったようです。避難所運営は、臨機応変に対処せなあかんなーと、つくづく感じました。〈報告：板垣防災士〉



■災害から家族と地域を守る(地震編)

令和4年10月27日(木)十津川村体育文化センターにおいて防災講演会が開催され、十津川村各区より総代様及び関係者を含め総勢37名が参加されました。奈良県防災士会より植村副理事長、八木沢理事が講師として出席。小山手十津川村長様より今回の講演を開催した目的、南海トラフ地震が発生した時には、隣近所と助け合う事が重要である旨の挨拶を頂戴しました。



続いて植村副理事長による「災害から家族と地域を守る(地震編)」の講演がありました。「南海トラフの発生確率は、30年以内に70~80%の確率で発生すると言われており、誰もが必ず遭遇する」「被害は沿岸部に集中する。その為奈良県に支援はしばらく来ない。その間は自分たちで乗り切る」等、解説頂きました。山間部での地震被害として、新潟中越地震発生後の山古志村の様子を動画で紹介した際は、皆様真剣に見ておられました。

後半は地区防災計画について解説され、例として植村副会長の地元である三宅町上但馬地区の事例を紹介頂きました。奈良県防災士会は令和2年、十津川村と「地域防災力向上に関する協定」を結んでおり、各地区での防災計画作成を協力する事をお伝えしました。今回の講演中、参加された女性の方々が熱心に見入っておられ、都度頷かれる様子を見ていて、十津川の防災意識の高さ、各地区との繋がりの強さを感じました。(講演の様子は十津川テレビによる撮影があり、ケーブルテレビでの配信、及び村報で紹介される予定です)〈報告：八木沢防災士〉

■奈良DWAT避難所開設・運営訓練

令和4年11月17日 奈良県災害派遣福祉チーム(奈良DWAT)様からの要請を受け、体験型「避難所開設・運営訓練」を実施しました。奈良県防災士会からは植村、堀田、小山、村山(千)、板垣、杉村、杵島、大坂間の8名が参加。

奈良 DWAT は、災害時に、避難所等に福祉専門職のチームを派遣し、高齢者、障害者、乳幼児等の要配慮者に対し適切な福祉支援を行うことにより二次被害の防止を図ることを目的とした組織です。今回、奈良 DWAT 隊より 22 名の方が参加されました。



日頃から社会福祉、保健衛生について専門的に業務を行われている方々に対しての研修会という事で、一般住民の方への避難所開設訓練とは少し違う緊張をしながら実施しました。今回の目的は、DWAT 隊の活動は発災後、急性期頃からの活動となる為、発災直後に避難所の開設を担う事はない為、まずは自らが被災者住民となり、避難所を開設する要領や想定される事象（要配慮者への支援や避難住民からのお困りごとなど）に対して、「運営する立場の視点から避難所開設」について学習頂く事を目的としています。コロナ禍における留意点、対応すべき事なども含め取組んで頂きました。事前の学習として、植村副理事長（兼相談役）より資料に基づき説明がなされ、その後、参加者を約半数ずつ、避難所開設班と避難住民役に分かれて頂き、それぞれについて体験頂きました。避難所開設、運営については、最初に運営の要である指揮統制役を男女 1 名ずつに担当頂き、開設に必須となる、事前受付（一次）や二次受付、ゾーニングなどの役割（担当）を決めて頂きました。住民役の方には、健康で無事に避難された方、要配慮者の方、避難途中にて発見した事象（事故など）を伝える方、車両にて避難された方、ペット同伴者などを想定として迫真の演技を行って頂きました。

訓練開始時は、バタバタした状況でしたが、時間と共にさすが DWAT チームと感じさせる、チーム内の協力や限られた資機材、備品を工夫され。指揮統制役を中心に各自判断し、指示も的確で全体が非常にスムーズでした。その場対応で困難なニーズや事象も温かく対応されており、我々も勉強になりました。我々もこのような団体と関わりを持たせていただきました事、有り難く思います。

<報告：大坂間防災士>

■天理市西長柄町防災訓練

令和 4 年 11 月 20 日（日）天理市西長柄町公民館及び長柄第 1 公園において、西長柄町自治会・自主防災会主催による「西長柄町防災フェア」が開催されました。第 5 回となる今年の防災活動フェアは奈良県の「地域防災力支援ワークショップ・自主防災訓練支援事業」の支援を得て行われ、約 180 人が参加しました。

自主防災会の班員は所属する「総務避難誘導班」「水防消防救護班」「給食給水班」のそれぞれに定められたテーマに沿って訓練を行いました。総務避難誘導班は「安否確認用シート」を用いて全世帯の安否確認を行い、その集計を災害対策本部へ報告しました。水防消防救護班は安否確認のサポートと、天理市消防分団の指導による「初期消火訓練」を行いました。給食給水班は「レトルトカレーの提供」を 150 食行いました。防災倉庫の備品をすべて搬出して「防災備品展示」も実施されました。

参加者は奈良県防災士会の板垣防災士と村山防災士による「安否確認の取組みについて」の講演を聴講した後、奈良県防災士会の指導による「簡易担架」「ロープワーク」「簡易トイレの使用方法」などを体験しました。<報告：南上防災士>



■ 「災害多発時代の消防団と自主防災組織の在り方」



11月26日(土)、奈良県コンベンションホールにて「地域防災力充実強化大会 in 奈良 2022」が開催されました。このイベントの目玉の一つでもあるパネルディスカッションに奈良県防災士会から植村信吉副理事長がパネラーとして参加しました。「災害多発時代の消防団と自主防災会の役割」をテーマに、MCに吉本興業のパナルティー ヒデさんを迎えて、仲川げん(奈良市長)、中室貞浩(奈良市消防団長)、伊藤俊子(奈良市女性防災クラブ連合会会長)、植村信吉(奈良県防災士会副理事長)、菅磨志保(関西大学社会安全学部准教授)の5名がMCヒデさんの質問に答える形で、それぞれの立場からの「防災の取組の紹介」、「自助・共助の必要性」「消防団と自主防災組織との連携」について意見を述べました。このような大きなイベントに県防災士会の代表として呼ばれることに、県内で防災士会が認められ期待されていることを実感した日となりました。

<報告：植村信吉防災士>

■ 災害時通訳・翻訳ボランティア養成研修

令和4年11月27日(日)奈良県立国際高校において、奈良県外国人支援センター主催による「災害時通訳・翻訳ボランティア養成研修」が開催されました。講師として招かれた奈良県防災士会からは15名が参加し、通訳・翻訳ボランティア、国際高校の生徒、関西外国語大学や奈良先端科学技術大学院大学の外国人留学生、地元自治会関係者など総勢77名を対象に研修は行われました。

前半は国際高校2年生で生徒会長を務める大西理文(おおにし よしみ)さんが「災害時 あなたはどうする?~What do you do when a disaster happens?~」と題し、英語スライドを用いて講演を行いました。大西さんは高校のゼミで「地震意識を高めよう」をテーマに研究をされており、過去の災害事例を取り上げながら「日本は世界有数の地震大国である」ことや、「南海トラフ巨大地震では奈良県でも相当の被害が想定されている」ことや「地震対策の大切さ」などをお話しされました。

後半の奈良県防災士会による実技訓練では、参加者は5つのグループに分かれて「水運搬」「非常用トイレ体験」「非常持出袋」「地震時危険箇所クイズ」「ブロック塀倒壊体験」の



5種類を順に体験しました。各ブースともに担当防災士は工夫を凝らして実技指導を行い、ふり返りの時間で何人もの外国人留学生が「It was very fun. (とても楽しかった。)」と感想を述べていました。

研修後のアンケートでは、「高校生の生徒さんが熱心に取り組んでおられるので、感激、感心しました」「防災士の方々の説明がとても分かりやすかったです」「演習を実際に体験することで、リアルな感覚をつかむことができた」「Please, organize more of these. (このような研修をもっと開催して下さい。)」などの声が寄せられました。

本研修の様子は11月29日(火)放送の奈良テレビ「県民フラッシュ」で紹介され、奈良県庁広報広聴課ナラプラスでYouTube動画がご覧頂けます(<https://www.youtube.com/watch?v=lexh2-xWMjY>)

<報告：小山防災士>

■王寺町住民ワークショップ

2022年12月10日(土)王寺町政策推進課が主催する町民ワークショップ「ゲームで学ぶ防災編」が開催され、一般公募で計36名、王寺町役場より7名、奈良県立大学より6名の計49名、及び奈良県防災士会からは村山防災士、板垣防災士、八木沢防災士の3名がワークショップに参加しました。コロナ禍でもあり、各会場では席の間隔を空ける等の感染症対策を十分実施した上での開催でした。

午前は南義務教育学校太子学舎で南エリア地区の方が参加。政策推進課 村田様、自治連合会会長井村様より開会挨拶を頂きました。続いて王寺町防災士ネットワーク 池田会長による避難所運営ゲーム HUG の説明があり、通常 HUG で使用する学校の図面ではなく、王寺町の指定避難所「いずみスクエア」を想定。実際に災害が起きた際使用する避難所想定だけでなく、参加された方々にも緊張感が伺えました。5つに分けたテーブルには、住人・役場職員・大学生が交互に入り、自己紹介が終わるとゲーム開始。初めて体験される方もおり、次々と繰り出される避難者カードに戸惑いながらも、みんなで意見を出し合いながらゲームを進めました。

途中村山防災士が緊急地震速報を鳴らし、机の下へ避難する様指示する場面もありました。ゲーム終了後は他のテーブルの見学をし、自分のチームと異なる運営をしている状況は、皆さん非常に参考になった様です。総評を奈良県立大学 高津教授より頂き、午前のワークショップは終了しました。午後は北義務教育学校へ場所を移し、防災士ネットワーク訓練部会が主となり、中央エリア・北エリアの住民の方々と HUG を行いました。

振り返りでは、ペット・トイレ・ゴミ・歩行困難な方への対応・個室とアリーナとの振り分け等、チームで課題となった事が発表されました。

今回の HUG は、1つのテーブルに行政・地域住人(自治会長)・大学生が同じ課題を共有し、意見を出す貴重な場であったと感じます。防災をきっかけとした各地域との横のつながりが、今後の町づくりの基本になると感じたワークショップでした。奈良県立大学 高津教授 学生の皆様、長時間お付き合い頂きありがとうございました。<報告：八木沢 防災士>



■今里町防災訓練

令和4年12月11日(日)大和高田市今里自治会館ならびに今里町内において、今里町自治会自主防災会の主催により「防災講演会と防災まちあるき」が実施されました。本訓練は奈良県の「地域防災力支援ワークショップ・自主防災訓練支援事業」の一環として行われ、大和高田市からも支援を得て、今里町自治会の班長28人が参加しました。

講師には奈良県防災士会から植村防災士、村山防災士、板垣防災士、小山防災士の4名が招かれました。前半は小山防災士が「南海トラフ大地震について」と題して講演を行い、同じ海溝型地震である「東日本大震災」の発生の瞬間の映像をご覧いただくなどして、海なし県の奈良県であっても「南海トラフ大地震」が脅威となり得ることを紹介しました。後半は今里町を4つのエリアに分割し、4グループに分かれて「防災まちあるき」に出掛けました。参加者は「防災まちあるき チェックシート」を手に、南海トラフ大地震で想定される震度6弱～6強の揺れが今里町を襲ったと想定

して、「安全な場所」「災害時に役立つと思われる物や店」「災害時に役立つと思われる人」「危険と思われる場所や道路など」を確認して回りました。ふり返りの時間ではグループ内で意見集約した後、各リーダーが代表して発表を行い、参加者全員で情報を共有しました。



訓練後のアンケートでは、「南海トラフ地震といわれていても具体的に考える事はなかったが、今日のビデオを見て実感がわきました」「地域の危険な所、安全な場所が回ってみてよく分かりました」「普段上を見上げることがないので、かわら等の状況を確認出来てよかった」「消火栓がある場所がわかった」「井戸の使用が出来る所も数カ所あり、心強く思った」「このような研修、0回と1回とでは大きく違うので参加してよかった」「参加の皆さんと共に行動出来てよかった」「今里町の班長だけでなく、全員の人達（班毎に）体験できればいいと思いました」などの声が寄せられました。〈報告：小山防災士〉

■奈良県地域婦人団体連絡協議会主催「防災学習会」

令和4年12月17日（土）葛城市中央公民館において、奈良県地域婦人団体連絡協議会の主催により「防災学習会」が実施され、婦人会から50名の方が勉強会に参加されました。奈良県防災士会からは末田防災士が講師として講演を行いました。地域婦人団体連絡協議会の防災学習は2020年に続いて2回目になります。

主催者からは「防災でまず一番気をつけなければならないこと」ということで、命を守る行動と準備についての講演を行い、参加者の皆さんが主となる題材として「家族会議」を提案しました。当初参加者は「防災学習は面倒だけど、やっておかなければいけないこと」と言われていましたが、無理のない範囲でご自身の得意なことや、やりたいことからコツコツ進めることと、防災の話は誰から聞かかが大事なので、自分はなかなか実行できなくても、家族や友達に教えてあげたら、その方は実行される可能性が高いので、思いついた方の名前をメモしておいてくださいと話しました。また非常食についても実行しやすい方法を提案しました。期限切れになっても食べる気がしないような非常食は、災害時に食べるのもしんどい。普段食べているもののローリングストックも推奨されているが、なかなか実行できないことなので、いっそのこと自分が食べたい、テンションが上がるもので賞味期限が比較的長いものを買っておけば、例えば1年後に食べるのも楽しみになるし、災害時に頑張っていく糧になります。

最初は「眠らないように頑張って話を聞きます」と言われていましたが、皆さん眼を輝かせて聞いていただけだったので、少しはお役に立てたかと思えます。〈報告：末田政一 防災士〉

■令和4年度支部長会議

日本防災士会令和4年度支部長会議が東京会場と大阪会場それぞれ開催され、末田理事長、植村副理事長、八幡領理事が出席しました。

冒頭、室崎理事長より挨拶があり、「日本防災士会は信頼される団体へ更に向上を図る必要がある。組織の近代化、体制づくりを図ってまいりたい。」といった趣旨の発言がありました。

議題は次の通り。

- (1) 2022年度 事業計画への取り組み状況について
- (2) 支部支援金及び支部連絡協議会の助成金の申請について

- (3) 支部支援金申請書の理事による監査的チェックについて
- (4) 2023年度理事の選任について
- (5) 組織強化に向けて～支部活動の手引き～
- (6) 支部長自己紹介及び活動事例発表

令和5年度にかけて会員管理システムが導入されます。本部会報80号を精読願います。

■令和4年度スキルアップ研修

奈良県防災士会令和4年度スキルアップ研修を12月18日日曜日に三宅町文化ホールにて開催しました。

当日は、47名の防災士が末田理事長、植村副理事長の熱心な講義を受講しました。

テーマは「研修・実技の進め方と災害発生時の防災士の行動」「避難所運営訓練の進め方」「マイ・タイムラインの進め方」「地区防災計画の進め方」の4講座、それぞれ50分間の内容でした。

受講者からは、「まちあるきの視点について」「集団を統制するコツについて」といった質問があり、それぞれ講師が答えました。

講義の合間では、参加された防災士同士のつながりのために挨拶するシーンもあり有意義な1日となりました。

講師役を務められた末田理事長、植村副理事長、ならびに受付や物販など運営にご協力いただいた皆さまありがとうございました。

■日本河川協会月刊誌「河川」令和4年10月号に執筆

令和3年12月24日に、一級河川大和川水系大和川他18河川と大和川流域について、特定都市河川及び特定都市河川流域に指定されました。(流域治水関連法の中核をなす特定都市河川浸水被害対策法の改正後、全国初となる特定都市河川の指定です)

この法律に基づき、国土交通省大和川河川事務所と奈良県が事務局となり、令和4年1月12日に大和川流域の流域水害対策協議会を設立されました。この協議会は、国土交通省、県、大和川流域の25市町村で構成しており、大和川流域のあらゆる関係者の協働による流域治水を推進するために「大和川流域水害対策計画」を作成し、実践することを協議していく予定で、奈良県防災士会もこの協議会に参加しています。

このたび日本河川協会からの依頼で「月刊誌河川10月号」に執筆いたしました。「地域防災力向上の取り組み」と題して、防災士会の活動をレポートしています。〈報告：末田政一 防災士〉



流域治水
～大和川・江の川～

災害支援復興支援の報告と御礼

災害復興支援金のカンパにご協力頂きありがとうございます。

2022年9月23日現在58,000円のご入金を頂いています。

奈良県防災士会から142,000円を加算して、新潟県支部へ20万円を送りました。

新潟県支部の災害ボランティアセンター支援は一旦終了されたということで、感謝の言葉を頂きました。

改めて御礼申し上げます。

災害復旧・復興支援ボランティア登録

奈良県防災士会では災害ボランティア派遣登録者制度を設けています。登録者はあらかじめボランティア保険に加入して、すぐ支援に対応出来るような体制を整えてきました。今後も登録制度を続けていきますが、コロナ禍で全国の災害被災地に災害ボランティアとして派遣が難しい状況が続いていることを含め、多種多様な形で支援ができるように災害ボランティア登録の再整備を行います。

災害復旧・復興支援は、「被災者中心」が原則です。被災地では「泥をすくう」だけでなく、「心を救う」支援も進めて行きたいと考えています。個々人が持つスキルや資格、特技が被災地で役に立ちます。すでに登録をされている会員を始め、新たに登録を希望される会員も含めて災害復旧・復興支援ボランティアの募集を行う予定です。再度、募集の際には会員のご協力をお願いします。

今後の活動予定

■奈良県防災士会 総会・研修会

●2023年5月

場所、時間、議案、研修会内容等の詳細は、会員様宛に発送する予定です。詳細が決まり次第ホームページでも告知します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により縮小開催もしくは書面決議の可能性あります。

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、「**奈良県防災士会**」で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトでは、会員のスキルアップのため、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしていますが、新型コロナウイルスの影響で、現在見学案内は最小限に留めています。

会場定員の都合で予約制となります。見学を希望される方は、事前に事務局までメールで申込をお願いします。

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

- 送り先 **mail@bousainara.com**
- テキストおよび写真（肖像権など差支えないもの）をお送りください。



奈良県防災士会の**Facebook**を公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね！」をよろしくお願いします。

「Facebook **奈良県防災士会**」で検索

■発行日 2023年1月1日
■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
〒632-0221 奈良市都祁白石町 1192-190
■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com
■FAX 050-3488-8178 ※番号が変わりました
■ウェブサイト <http://bousainara.com>
■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>